

令和2年度
大海小学校だより

10月号

おおみ

令和2年9月29日

校長 喜多 由紀

最高の思い出に残る運動会に！

今年は多くの行事が中止され、子どもたちが活躍できる場面が少なくなっている中、無事秋季運動会を開催することができました。保護者の皆様からの大きな声援の中、子どもたちは、素晴らしい団結力を見せ、赤組も白組も最後まであきらめず、熱い思いで頑張ってくれました。今年の運動会スローガン『最後まで全力で挑み 最高の思い出にしよう』は、逆境の中に立たされている



今こそ、大海小99人で最高の思い出を作りたいという子どもたちの願いが込められています。

9月に入っても暑さの厳しい日が続き、運動場での練習も思うようにできませんでしたが、高学年の子どもたちが、朝学習の時間や休み時間も丁寧に教え、心を一つにまとめていこうと

苦心しながら練習に励む姿は、特に印象的でした。

また、途中雨が強くなり、競技を中断することもありましたが、職員、保護者、子どもたちが、一緒に水取り作業をしたことで、残りのプログラムも実施することができました。子どもたちは、最後まであきらめず粘り強く協力して取り組むことを、保護者の方々の姿から学ぶ事ができました。本当にご協力いただきありがとうございました。

さて、いつも「何事もたし算が大事」と子どもたちに話しています。もうちょっと考えてみたり、見方を変えてみたりすると、新しい発見や工夫が見えてきます。ヨシタケシンスケさんの絵本『あつかったら ぬげばいい』（白泉社）には、「いみのわからないページがあったら、バンバンとばしてわかるとこだけよめばいい」「おとなでいるのにつかれたら、あしのうらをじめんからはなせばいい」など、『あっそうか。そうだよ』と目からウロコの言葉が並んでいます。あたりまえのことが難しい日常ですが、力まず素直でいることの大切さを実感させながら、これからの活動を進めていこうと思います。「もう少しこんなこともやってみようかな」と、それぞれの活動で自主的・積極的に頑張してほしいものです。



【トンネルアートの思い出のポロシャツで】



10月の生活目標・・・『ふわふわ言葉を使おう』

10月は、時と場に応じた言葉遣いができること。人の気持ちを考え、温かい言葉かけ（ふわふわ言葉）ができること。この二点を目指して取り組みます。クラスで増やしたい「ふわふわ言葉」について話し合います。「ふわふわ言葉」は、「がんばれ」「いっしょにやろうよ」「いいね」「おめでとう」「だいじょうぶ」等、相手が気が楽になったり、勇気が湧いたり、元気になったり、喜んでくれる言葉のことです。ご家庭でも、ぜひ「ふわふわ言葉」で声掛けをしてあげてください。

10月の学習目標・・・『人の話を最後まで聞く』



10月は、どうすれば人の話がしっかりと聞くことができるかについて考えて取り組みます。その聞く力を伸ばすために「話す・聞くトレーニング」や「聞き方マラソン大会」を実施します。毎日の授業でも **話を聞く - わかる - 勉強が楽しい** となるように、人の話に耳を傾けることの良さについて、ご家庭でもお話しください。

